

後継者の思いを実現し 屋内装飾用スライスレンガに活路

課題

限られた原料のなかで 新事業の開発が急務

耐火レンガの生産が盛んな備前市三石地区で1963年に創業した有限会社藤田商会。使用済み耐火レンガを全国から仕入れて、耐火レンガ製造事業者向けの原材料として、また外壁などに使用する景観用アンティーク耐火レンガとして外構施工や造園、資材販売などの事業者向けに販売を行ってきた。しかし近年、使用済み耐火レンガの仕入れに課題を抱えていた。主な入手先は鉄鋼メーカーで、炉の解体によって出た耐火レンガを仕入れていたのだが、炉の解体が減少傾向にあるため仕入れられる量に限りが出始めたのだ。

このままでは今後の売上げの伸びは望めない。同社は、限られた原料のなかで付加価値の高い新商品やサービスを開発し、提供する必要に迫られていた。

支援

経営革新計画を策定して 経営者の理解を獲得

相談を受けた備前東商工会では、2015年、同社の現状把握を実施。すると、アンティーク耐火レンガは問い合わせや客の来社が増えているものの、施工例として提示する設備がなかったため、客はイメージがつかめず、購入にいたらないというケースが多いことがわかってきた。そこで、小規模事業者持続化補助金の活用し、展示場や商談スペースを設けることを提案。申請や実行支援を行った。これにより展示場の写真を掲載したホームページへのアクセスや問い合わせが増加。増えた来店者に対しても、施工について説明がしやすくなり、開設から1ヵ月で2件の成約につながった。

懸案だった新事業は、立案者の後継者を中心に取り組んだ。それは、レンガを薄くカットしたスライスレンガの製造販売である。薄くて軽量のため用途の幅が広がり、カフェや美容室などの屋内装飾用としての需要が高まっていたからだ。しかし当初、経営者はレンガをカットすることに否定的で、事業に対しても不安視していた。

そこで商工会では、経営革新計画の策定を提案。製造方法の検討や課題を解決しながら、計画書を作成。2016年に承認を受けたことにより、経営者の理解を得るとともに、後継者の本気度も伝えることができ、新事業実施に向けて前に進みだした。資金的な課題に対しては、2回目の持続化補助金



スライスレンガの製造風景

を活用。スライスレンガを製造するための設備を導入することができた。

その後、商工会の支援のもとスライスレンガは2017年に商品化。ニーズ調査結果を反映した販売で、売上げは順調に推移し、同年下半期6ヵ月で、当初計画の1.5倍の約100万円の売上げを実現。さらに商工会では、新たな販路開拓として1件あたりの売上げを増加するため、施設のリノベーション分野への進出を提案。2018年、3回目の持続化補助金を活用して展示会への出展を支援し、5ヵ月間で約2000万円の売上げにつながった。

支援の経過

期間	支援内容
2015年7月～12月	持続化補助金の活用支援
2015年10月～2016年3月	経営革新計画の策定支援、 持続化補助金の活用支援
2016年3月～2017年12月	スライスレンガの商品化支援
2018年5月～2019年4月	持続化補助金の活用支援

会社概要

会社名：有限会社藤田商会
住所：岡山県備前市三石2755-8
電話番号：0869-62-1890
URL：https://www.fujitaya-fff.jp
代表者名：代表取締役 藤田寛
創業年：1963年
従業員数：5名
商工会名・担当者名：備前東商工会・岡下知史